

「子どもにやさしい空間」と 災害時の子どもの心のケア研修

主催：公益財団法人日本ユニセフ協会

2016年11月29日（火）10:00-17:30（定員30名）

2016年12月 3日（土）10:00-17:30（定員30名）

* 両日とも内容は同じです

会場 日本ユニセフ協会 2階 会議室

国際的な災害子ども支援における「子どもの保護」の原則などとともに「子どもにやさしい空間」の考え方に基づいた設置・運営の具体的な方法や、子どもの心身の回復、日常生活を取り戻す関わり方を学びませんか？

災害や事故。

子どもたちは一瞬にして「日常」という支えを失います。

そのような時、私たち大人は子どものために何ができるでしょうか。

2011年の東日本大震災以降、災害時の子どもの支援として

日本でも普及が広がっている「子どもにやさしい空間」をより深く

学びたいという声にお応えし、子どもにやさしい空間を始め、

災害時の子どもの心のケアの基本となる考え方を学ぶ研修会を行います。

* 研修講師養成講座ではありません。



©UNICEF/2011/N.Imoto

国際的に基準となる
心理社会的支援とは？

子どもに安心/安全を与える
具体的な関わりとは？

子どもにやさしい空間
ガイドブック



世界で、日本で実際にど
んな空間作りがなされて
きたの？課題は何？

研修は、「子どもにやさしい空間」ガイドブックに基づいて提供されます。

ガイドブックはHPからダウンロードできます。

<http://www.unicef.or.jp/kinkyu/japan/pdf/cfs.pdf>

<プログラム>

『子どもにやさしい空間』研修 10:00-13:00

1. 「子どもにやさしい空間」とは？【講義とディスカッション】
2. 「子どもにやさしい空間」の実践Ⅰ【講義とディスカッション】
どんな時に必要なの？／緊急時の子どもたちの状況は？／どうして必要なの？／
「子どもにやさしい空間」ってどういうもの？／どう役立つの？／6つの大切なこと
3. 「子どもにやさしい空間」～実際に作ってみよう【グループワーク】
子どもたちの状況を把握しよう／活動内容を組み立てよう／場所や設備を考えよう
4. 「子どもにやさしい空間」の実践Ⅱ【講義とディスカッション】
人員配置を考えよう／活動を振り返り改善しよう

『災害時の子どもの心のケア』研修 14:00～17:30

1. 心理社会的ケアとは：子どもにやさしい空間の背景
2. 国際災害支援における子どもの保護と子どもにやさしい空間の実践
3. 日本における子どもにやさしい空間の実際：意義と課題（熊本・東北の事例を交えて）
4. 緊急時の子どもとの関わり：PFA for children の紹介
5. 遊びで子どもの回復力を支える：遊びを通した子どもの心のケア

<講師>

大滝涼子：災害時こころの情報支援センター・心理士

小野道子：日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援本部・元 UNICEF 子どもの保護官

本田涼子：日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援本部・臨床心理士

湯野貴子：日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援本部・臨床心理士

他

研修申込み及びお問い合わせ先

公益財団法人 日本ユニセフ協会 東日本大震災緊急支援本部

電話：03-5789-2295（担当：加藤）

kkato@unicef.or.jp



<会場のご案内>

日本ユニセフ協会 2階会議室

港区高輪 4-6-12

電話 03-5789-2295

（東日本大震災緊急支援本部）

JR 品川駅高輪口、京急品川駅、
都営浅草線高輪台駅からそれぞれ徒歩7分
http://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_hou_ac.html



©フジイカクホ
撮影者 大畑俊男